7 学校番号	205

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍　家基 701）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・衣食住、経済生活、共生社会などについて家庭基礎で学んだことを発展させていきます。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・実習は、連続的にありますので、体調を整えて授業に参加してください。
・自分の生活と関連付け、よりよい生活、自立をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。
【思考力。判断力、表現力】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々を協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	保育	・子どもの発育・発達 ・子どもの生活習慣	a:子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察などさまざまな体験から、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 b: 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいかを考え、表現することができる。 c:子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、様々な人々と協働し、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりと実践しようとしている。	・ワークシート ・作品 ・実習	・ワークシート ・G ワーク	・レポート ・G ワーク
	食生活	・食生活の課題について考える ・これからの食生活	a:健康と安全、環境に配慮した食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 b:実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し、食生活と科学の文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート ・実習	・ワークシート ・G ワーク	・レポート ・G ワーク

2学期	衣生活	・被服を管理する ・これからの衣生活	a:環境に配慮した衣生活の自立に必要な修繕・管理や手入れの方法を身に付ける。 b: 主体的に衣生活の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 実習で学んだことを活かし、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート ・作品	・ワークシート	・レポート ・G ワーク
	住生活	・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	a: 環境に配慮した自己と家族の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 b: 快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件について考える。 c: 学んだことを活かし、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の空間を計画する。	・ワークシート ・作品	・ワークシート ・G ワーク	・レポート ・G ワーク
3学期	消費生活	・情報の収集・比較と意思決定 ・生涯の経済生活を見通す	a:消費行動における意思決定について理解を深めている。生活における経済と社会の関わりについて理解を深めている。 b:自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 c:生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ワークシート	・ワークシート ・G ワーク	・レポート ・G ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度